

大清水中だより

教育理念 自由と責任

2021 年 1 月 7 日発行 1 月号 <http://www1.fujisawa-kng.ed.jp/johsh/> TEL 0466-50-8353

藤沢市立大清水中学校

〒251-0002

藤沢市大鋸 1400

校長 百武 三郎

あらたまの 年の若水くむ今朝は そぞろにももの嬉しかりけり

(樋口 一葉)

新年、おめでとうございます。コロナ禍ではありますが、新年になったというだけで少しだけ明るさと期待を感じずにはいられない令和 3 年の始まりです。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



さて、冒頭の歌は、昨日と同じような朝であり同じような水だけれども、元旦の朝に汲む水というだけで、その清らかさに年が明けた新しい気配を感じ、なんとなくほっこりと嬉しくなるものだ、という樋口一葉の和歌です。未だ収束しない新型コロナウイルス感染症も日本の経済もどうなるのかと不安になります。しかし、新年になったという少しだけ心躍る気持ちを大切にして、今年一年しっかりと前を向いて笑顔を絶やさぬように、大清水中学校の職員一同、頑張っていきたいと思います。

チャンスは苦境の最中にある

年が明けて早々ですが、今月から多くの 3 年生が出願や入試へと向かいます。冬休み中も健康管理に努めつつ、夜遅くまで受験勉強に取り組んだことと思います。そして真剣に取り組めば取り組むほど自分の立ち位置がはっきりとわかってきて、ある種の不安に襲われることがあります。実態が見えてきたからこそ感じるもので特別なことではありません。保護者の皆さんもおわりの通り、この“実態が見えてきた”ということは、物事を突き詰めていかないとあまり経験することができないので、15 歳の子ども達にとってはあまり経験がなく余計に不安に感じるかもしれません。

冒頭の言葉はアインシュタインの言葉です。誰にとっても入試は楽ではありませんし、ある意味苦境ともいえるでしょう。しかし、その苦境の中（時）にこそチャンスはあるのだとアインシュタインは説いているのです。

中学校現場にいて、入試までの 1~2 ヶ月でこれまでにないほど大きく学力を伸ばす生徒を何人も見てきました。学校だよりの 4 月号では、コロナ禍にあつての「ピンチはチャンス」であると書きましたが、苦境やピンチの時こそチャンスはあると考えれば、苦境やピンチは苦しいだけではないはずです。大清水中学校で学んできた 3 年生にはこれまでの経験があります。この経験はことのほか大きいものです。誰にも負けない大きな力を自分は持っていると感じてほしいと思います。これから先、自信をもって全集中で入試に向けて、卒業に向けて取り組んでほしいと願います。「やれば、できる！」です。



いつから“おやじ”になったのか？

我が家では子どもが小さかったころは「パパ」と呼ばれていました。しかし、いつのころからか「おやじさん」「おやじ」そして時には「じい」と呼ばれるに至りました。子どもの成長とともに家族の呼び方も変わっていくようです。色々としてあげなければ何もできないと思い、心配でならなかった我が子が、父を「おやじ」と呼ぶようになった頃には、色々なことを自分で当たり前のようにできていて、頼もしくさえ感じられるようになっていました。しかし、そこまでは子の親への反発であったり、親の子育てに苦悩する日々であったり、並大抵ではありません。

小学生ぐらいまでの子どもたちは、親の言うことを素直に聞き入れ、ほとんど反発することはありません。そんな親から見れば“良い子”だと思っていた子が、中学生になって反抗をし始めます。精神的な独立を始めたのです。時には暴力的な態度に出ることもあるでしょう。小学生のうちに社会の道理や常識を教えていなければ、中学生になった子への指導もなかなか大変になります。もはや親の言いなり

にはならない、一人の“人”として成長をしているのです。

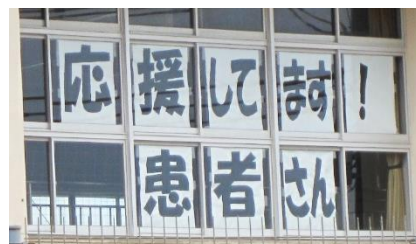
また、親も始めから親ではなく、子どもによって親に成長させてもらっています。子どもの身体的な成長や精神的な成長とともに、親の精神的な成長（人としての成長）があるのだと感じます。間違っただけをした子どもに毅然とした態度で臨むことはもちろん、その小さな成長を認めて褒めてやることも、子どもの次の成長へとつながります。その陰には何物にも代えられない親の愛情があることは言うまでもありません。「おやじ」と呼ばれるようになれば子育ても進み、親として少しは一人前になれたのかもしれません。しかし、帰宅して玄関で左右がバラバラに向いた靴や脱ぎ捨てられたスーツを見ると、僅かな溜め息とともに、まだまだ親としての修行？は続きそうだと感じました。

ささやかな気持ちです… コロナ禍で私たちができること

一向に収束の糸口が見えないままの新型コロナウイルス感染症。緊急事態宣言も再び出されました。このような中で私たちには、いったい何ができるのでしょうか？

4階の音楽室の窓に、医療関係者の皆さんへの感謝の思いを文字にしました。また体育館の窓には、病気やケガで苦しんでいる人々、入院している人々の早期回復への祈りを文字にしました。

生徒会役員が文字を書き、吹奏楽部とバスケットボール部の生徒が窓に張り付けてくれました。



生徒会役員は新メンバーになりました。残念ながらコロナ禍で思うような対外活動もできずにいました。しかし、さすがは生徒会役員です。思いを形へとすることができました。

私たちは医療関係者ではありませんから、直接的に治療に関わることはできません。しかし、医療関係者の皆さんへ感謝の気持ちと、患者の皆さんに一日も早い回復を願う思いを伝えたかったのです。またこの思いが広く市民に伝わり、病気やけがを減らすことにつながってくれることを願っています。

私たちチーム大清水中は、自分の健康に十分注意して病院にかからなくてもいいように過ごすことで、医療関係者の皆さんの助けになりたいと思います。毎日の健康維持のため、手洗いやうがい、マスクの着用、けが防止のための準備運動など、初心に戻って丁寧に取り組んでいきたいと思っています。大きなことは何一つできませんが、私たちのささやかな気持ちです。

1月の予定 ※今年度は冬日課がありません

日	曜日	行 事	日	曜日	行 事
1	金	2021年 令和3年 辛丑 元旦	17	日	
2	土		18	月	
3	日		19	火	3年5校時まで
4	月		20	水	
5	火		21	木	
6	水	1年生登校日	22	金	私立高校推薦入試
7	木	1年八ヶ岳野外体験教室 3年実力テスト	23	土	
8	金	残念ながら	24	日	
9	土	延期しました	25	月	
10	日		26	火	2年横浜めぐり前日指導
11	月	成人の日	27	水	3年学年末テスト 2年横浜めぐり
12	火		28	木	
13	水	専門委員会	29	金	
14	木	あいさつ運動 全校評議会	30	土	
15	金	あいさつ運動	31	日	
16	土		1	月	

